



# 週間展望

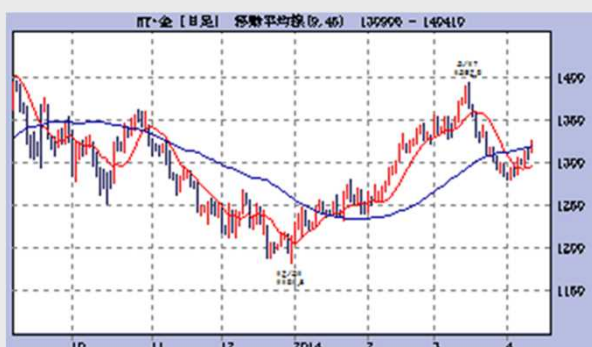
2014年4月21日の週

You can imagine the forecast of next week's futures market in only 5 minutes.

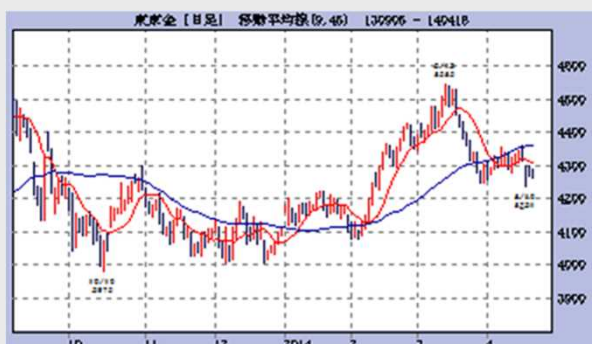
## Precious Metals

発行日 2014年4月18日 (金)

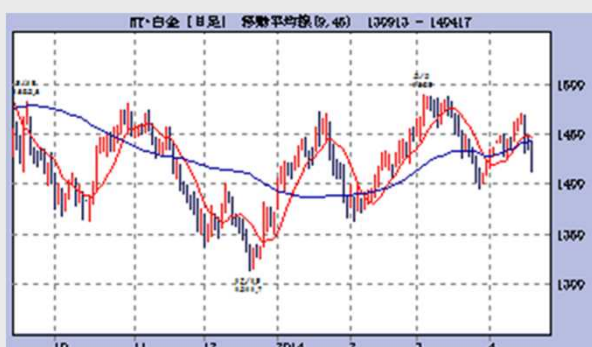
NY金チャート



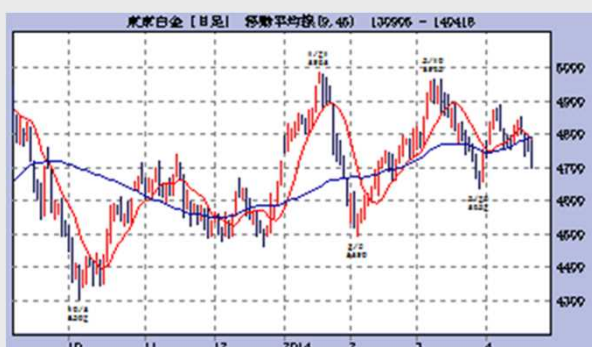
東京金チャート



NY白金チャート



東京白金チャート

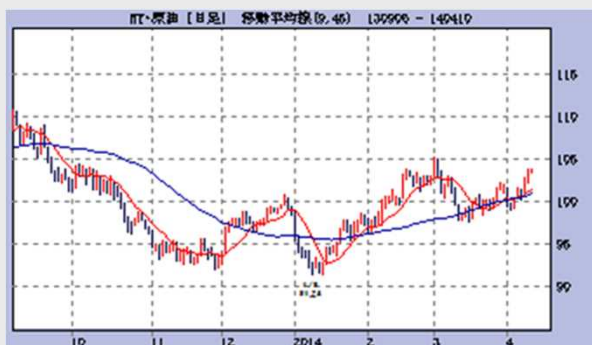


【金】ウクライナ東部Donetsk州で親ロシア勢力が行政庁舎や警察署、空港を占拠しウクライナ政府は軍隊を投入発砲事件も起きている。このため金価格や原油価格は上昇している。しかし、ウクライナ問題がこれまでの紛争と違うところは、プーチン大統領とオバマ大統領、メルケル首相、パンギピン国連事務総長との話し合いが十分行われていることである。表面的には、経済封鎖を強化するなどの対立の構図が描かれているが、裏では妥協点が見出されているものと推測される。ウクライナの当事者にとっては内乱に近いであろうが、国際社会の観点から見ると、局地的な問題に過ぎず、ウクライナを発火点に世界の対立が深まるという可能性は小さいと思われる。ニューヨークで講演したイエレンFRB議長は雇用と物価の見通しに慎重な姿勢を見せ、ゼロ金利長期化の可能性を示唆した。6.7%の失業率が5.2~5.6%と想定される自然失業率を大幅に上回っているとの認識を示し、インフレ率は2%以下で推移すると見通しを示した。また成長路線から逸脱する要因は無数に想定されると慎重な姿勢で臨み、ハト派のスタイルを取り戻している。中国では財務省が実施した1年債の入札に280億円の発行予定額に対し207億円の応募しかなかった。低利の中国国債の人氣がなかったことが一因であるが、政府の低金利政策と銀行の高金利選好がかみ合わなかったよである。NY金価格は世界の様々な不安要因を抱えているため、急落する恐れは少ないだろう。予想レンジ NY金 1250ドル~1350ドル

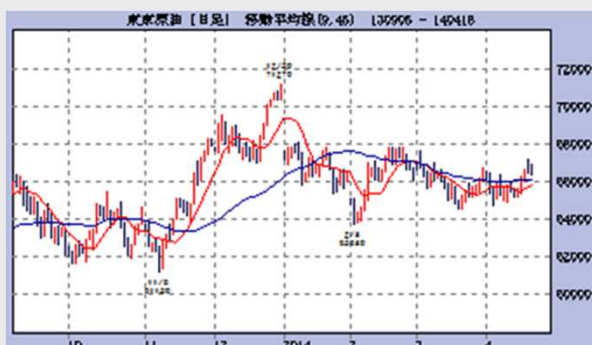
【プラチナ】4月18日の時点で、南アのChamber of Mineの2014年賃金交渉に関するサイトに掲示されているストライキによる労働者と企業側の損失額のカウンターは止まっていない。4月17日付でアングロアメリカンプラチナム社はAssociation of Mineworkers and Construction Union (AMCU)宛に書簡による回答を提出した。内容は、「2017年7月までに地底労働者に対して、月額1万2500ランド(年額15万ランド:約146万円)の現金報酬を約束する。これにより、7.5~10%の賃上げとなる。また、手当についてはインフレに沿って引き上げる。会社側にとっては、医療費や残業手当、ボーナス等も含めれば、地底労働者一人当たり年間21万ランド(約200万円)の負担となり、労働コストは年間生産コストの55~60%に及ぶ。賃金増額分は昨年7月1日にさかのぼって支払われるが、ストライキの期間の賃金は支払われない。現在までに同社は12週間のストライキによって22万5373オンス(約7トン)の生産が失われ、580億ランド(5,658億円)の収入が無くなった。来週火曜日までに十分検討して回答願いたい。」というもの。いよいよストライキは大詰めに入ってきた。プラチナ価格は全く反応していないどころかこれだけのストライキがあっても下落している。理解に苦しむ展開である。市場が小さいことが影響しているのかもしれない。ストライキが終わったとしても、増産は簡単にはできないため、プラチナの需給は非常にタイトなまま推移するものと思われる。予想レンジ NYプラチナ価格1400ドル~1450ドル 東京プラチナ価格 4600円~4800円

## Oil

NY原油チャート



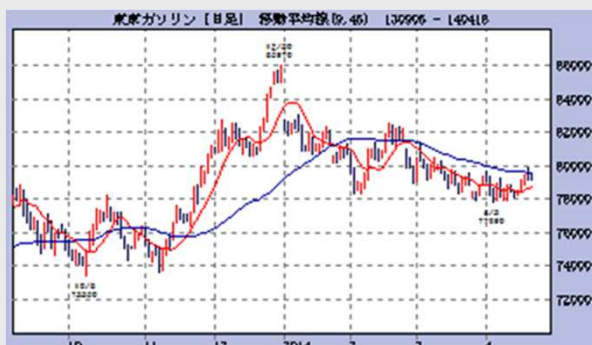
東京原油チャート



NYガソリンチャート



東京ガソリンチャート

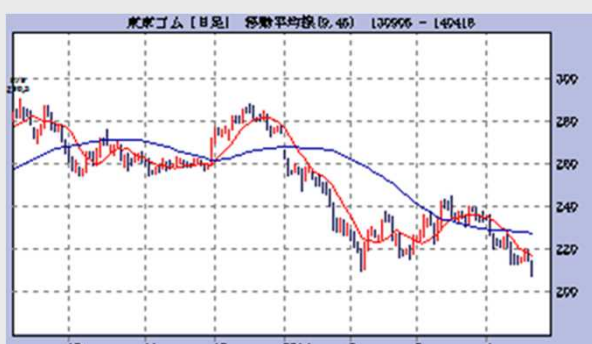


【原油】3月17日97.37ドルだったNY原油は上昇を続け4月16日104.99ドルになった。3月3日の106.22ドルという昨年来の高値を抜けるかどうか一つの焦点となる。需給の状況は、ほぼ均衡している状況であり、余剰感はないものの不足には程遠い。米国では2012年の原油確認埋蔵量が4年連続で増加し、前年比+45億バレルの330億バレルとなった。これは1970年にアラスカ原油が発見されて以来最大の増加であり、主にテキサス州とノースダコタ州のシェールオイルによるものである。OPECのOil Market Report 4月号によれば、2014年の世界の原油需要は前年比+日量114万バレル増の日量9115万バレルに対し、非OPEC諸国の原油生産量は前年比+日量153万バレル増の日量5998万バレル、OPECに必要な原油生産量は差し引き日量2964万バレルで、3月のOPECの生産量は日量2961万バレルとほぼ均衡している。OPEC諸国は、リビアが前年同月比日量▲115万バレル減、アンゴラが同▲28万バレル減であるが、サウジアラビアは+57万バレル、イランやイラクも10万バレル以上増産している。イラクは今後新たな油田の生産が増加し、年内にも日量300万バレルという大量の生産能力が増強される見込み。こうした状況から原油価格は上がりようがないと思われるが、ウクライナや米国の景気回復を見て上昇している。米国の株価は天井感が強く、今後株安になるとすれば、原油価格も下落基調になるのではなかろうか。予想レンジ NY原油価格100~105ドル 東京原油価格64000円~66000円

【ガソリン】4月11日までの週の米国の原油在庫は+939万バレル増と大幅増になった一方で、ガソリン在庫は▲15万バレル減と小幅な減少となった。石油製品出荷量は、+12万バレルの増加であったが、ガソリン出荷量は▲38万バレルと減少している。日本の石油連盟発表の週末在庫（4月6~12日）は、前週比+7.3%の188万9,353キロリットル。推定出荷量は▲15.7%の78万4,346キロリットルとなっている。消費増税の反動から、やや出荷にブレーキが掛かっている。末端価格の上昇圧力が強まる中、需要サイドから需給緩和と圧力が強まり易い。ただ、一部製油所は既に定期修理に入っていることで、特に国内需給要因を背景に売り込むような動きも見られない。原油の上げ基調が一段落すれば、下落傾向に転じる者と思われる。予想レンジ NYガソリン価格 2.9ドル~3.1ドル 東京ガソリン価格 75000円~80000円

## Rubber

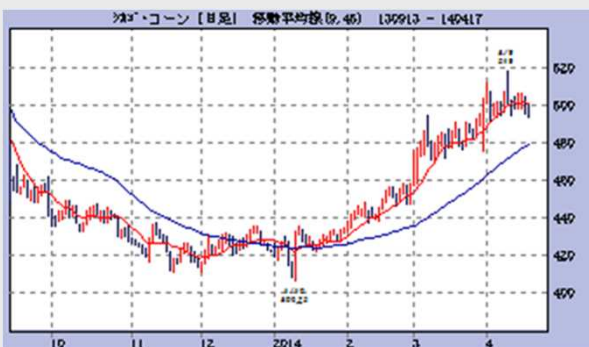
東京天然ゴムチャート



【天然ゴム】東京ゴム価格は210円を下回って、3月17日の244.8円から▲35.4円下落している。タイでは減産期で中央ゴム市場における集荷が途絶える日もあるにもかかわらず、価格は反応していない。日本の営業倉庫在庫は3月末に2万2千トンと、1月末の1万7千トンから26%も増加している。ただ、上海期貨交易所の認証在庫は2月から▲19.5%減少し、4月11日時点で17万3812トンとなってい。自動車タイヤ工業会によると、第1四半期の日本の新車用タイヤ販売本数は前年同期比8.5%増、市販用は20.3%増と好調である。日本自動車工業会のデータでは四輪車生産台数は、2月まで6カ月間連続で前年同月を上回っている。中国汽車工業協会によると、3月の自動車販売は前年同月比+6.6%増の216.91万台、生産は同+5.6%増の220.17万台となり、単月としては販売・生産ともに過去最高を更新した。タイヤ用ゴム需要は好調になっていると考えられ、今後価格は底を打って反転上昇するのではないだろうか。予想レンジ210円~230円

## Grain

シカゴコーンチャート



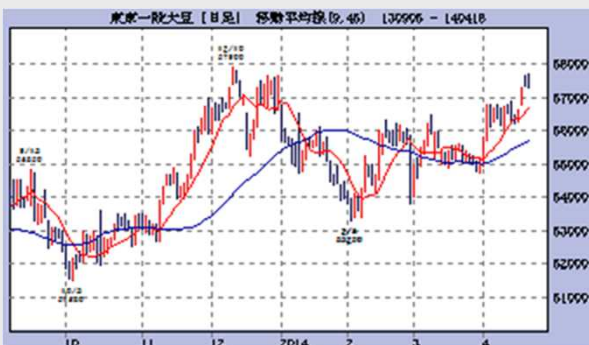
東京コーンチャート



シカゴ大豆チャート



東京一般大豆チャート



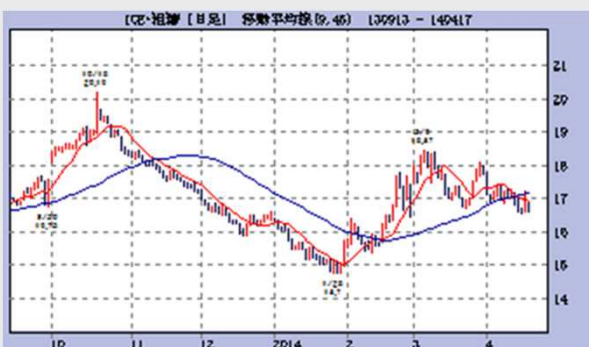
【トウモロコシ】旧穀面からすると需給報告による期末在庫率は10.9%から9.9%に減少し、新穀面から言うと作付面積が前年の9,540万エーカーから9170万エーカーに▲3.85%縮小することで、強気の予想から1月以降シカゴコーン価格は上昇してきた。作付は4月13日時点で3%であり、昨年の2%よりは良いが過去5年兵器の6%よりは少ない。全米各地で寒波による雪が降る所もあり、今後の天候が注目される。気象庁によると夏場には5年ぶりのエルニーニョが発生する可能性が高いと言い、それが今夏の米国天候にどう影響するかが問題となる。しかし5ドルを超えたところで手じまい売りが出始めている。急落する要因は少なく、輸出も好調で、輸出検証高は前年同期の+38%増、輸出成約残高は前年同期比+187%増である。また、米国内需要も飼料用が+22%増、エタノール需要は+7.6%増と昨年と異なり需要が良い。こうした背景から価格が上昇する可能性は高いが、どこまで織り込み済みであるかという点が問題となる。ファンドの建玉も増加しており、そろそろいったん天井を打って調整安に転じてもおかしくない。予想レンジ シカゴトウモロコシ価格 4.8ドル～5ドル 東京トウモロコシ価格 27000円～28000円

【大豆】2月以降シカゴ大豆価格は上昇を続けており、15ドルを超えている。2000年から2013年までの14年間4月20日にシカゴ大豆を購入して6月末まで保有していれば、平均5%の収益が出ている。その間シカゴの場合は買い値を全く下回っていない。ただ、東京一般大豆の場合は円高の影響もあったため、平均1.4%の収益と低くなっているが、収益が出ていることに変わりない。ただ、今年はすでに相当上昇しているため、少ない在庫状況も織り込み済みと言えば言える。

13/14年度の期末在庫は135百万ブッシェル4.02%と非常に少ない状況である。昨年の125百万ブッシェルよりは多いが、昨年は需要が減退してバランスしたが、今年は需要が多い。4月10日までの米産大豆の累積輸出検証高は、前年同期比31.6%増である。ただ、中国は価格が上昇しているため契約のキャンセルを行っており、それがどれだけの規模になるかが注目される。ただ今年の場合は既に大豆価格は国内も米国もかなり上昇しており、更に上値を試す前には調整局面があるかもしれない様相である。大豆はまだ作付が始まっていないが、今後の天候が注目される。 予想レンジ シカゴ大豆価格 1450セント～1550セント 東京一般大豆価格 56000円～58000円

## Sugar

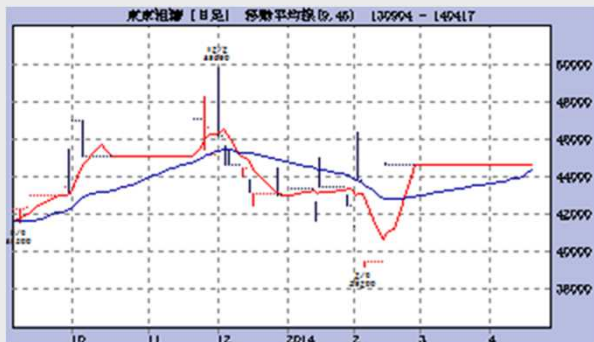
NY砂糖チャート



【砂糖】NY砂糖価格は、17セント台を中心に揉み合う展開に。ブラジルの早魃を背景に一段と買い進むことが警戒されるも、下値不安も限定されており、明確な方向性を打ち出せていない。18セント台から更に上値を試すような原動力は欠けているが、改めて売り込むようなテーマ設定も困難で揉み合い気味の相場展開になっている。

米農務省 (USDA) によると、2014/15年度のブラジルのサトウキビ生産高は6億2,900万トンと、前年度の6億5,000万トンから2,100万トン (3.2%) の減産が見込まれている。ただ、砂糖価格の回復で砂糖生産に割り振られる比率は46.5%と前年度から1%程度回復する見通しであり、砂糖生産に対するダメージはそれほど大きくならない見通し。インドでも農家の在庫売却の意欲が強く、供給超過状態を否定するレベルにまで達することができるのかは不透明感が強い。

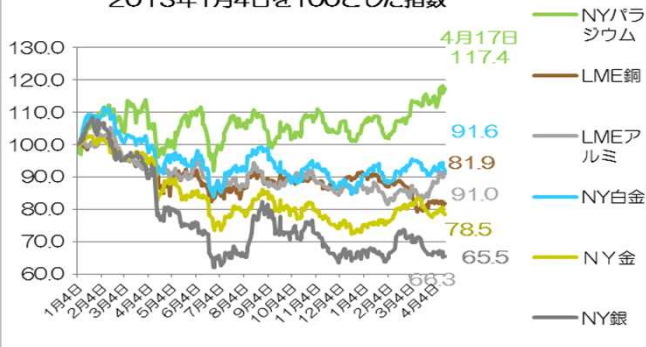
東京粗糖チャート



【砂糖】 予想レンジ NY砂糖価格16.5セント～17.5セント。

Sidebar

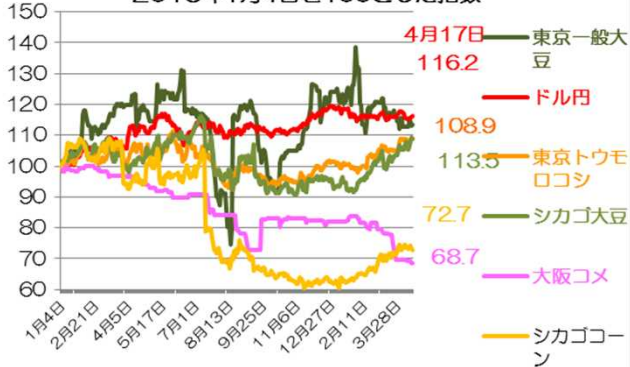
2013年1月4日を100とした指数



2013年1月4日を100とした指数



2013年1月4日を100とした指数



【2013年1月4日を100とした指数】 本日の週刊CXにも書いたが、昨年(2012)の1月4日を100とした4月17日までの商品指数の動きは、上と左のチャートの通りである。最も上昇したのは天然ガスで、43.9%、次いでNYコーヒーの36.5%、東京パラジウムの35%、シカゴ大豆粕之22.6%、NYパラジウムの17.4%、投稿原油之14.9%、と今日一般大豆の13.5%、NY原油の12.0%、東京灯油の10.8%、NYガソリンの10.5%等であった。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス (以下「COMMI」という) が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMIが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMIは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMIに帰属し、事前にCOMMIへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMIが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMIは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMIおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



COMMODITY INTELLIGENCE

株式会社コモディティー インテリジェンス

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310

会社電話： 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692

メールアドレス： kondo@commi.cc

発行元：